
臍帯血バンクの視点から



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

I 臍帯血の有害事象及び外観異常について

「臍帯血移植情報」の配布（平成26年度発生事例～）

- 移植医療機関（209施設）
- ポータルサイト「造血幹細胞移植情報サービス」への掲載

《報告数》

報告年度	移植件数	有害事象	外観異常
平成26年度	1,161	28(2.41%)	9(0.78%)
平成27年度	1,311	26(1.98%)	10(0.76%)
平成28年度	1,347	28(2.08%)	6(0.45%)

()内は頻度を表示

Ⅱ 有害事象について(平成26～28年度)

(移植数 : 3,823例)

《報告数》

	報告件数	頻度(%)
非重篤	67	1.75
重篤	15	0.39
合計	82	2.14

アナフィラキシーショック	6
ドナー由来白血病	2
細菌感染※	2
アナフィラキシー	1
ショック	1
徐脈、血圧低下、低酸素血症	1
血圧低下、低酸素血症、呼吸苦	1
移植後食物アレルギー発症	1

※ 臍帯血保管検体の細菌分離・同定試験：陰性

Ⅲ 過去3年間に報告された有害事象について

(移植数：3,823例)

	症状	報告件数(重複例あり)	頻度(%)
移植時	血圧上昇	18	0.47
	酸素分圧低下	18	0.47
	血圧低下	13	0.34
	蕁麻疹等	12	0.31
	吐き気、悪心	11	0.29
	呼吸苦	8	0.21
	血色素尿	7	0.18
	嘔吐	6	0.16
	頭痛	6	0.16
	徐脈	5	0.13
	喘鳴	4	0.10
	腹痛	3	0.08
	意識レベル低下	2	0.05
	ショック症状	3	0.08
	掻痒感	3	0.08
その他	18	0.47	
生着後	ドナー由来白血病	3	0.08
	染色体異常	2	0.05
	その他	2	0.05

詳細は
次のスライド

IV 生着後の有害事象に関する詳細(過去3年分)

No.	症状	詳細
1	ドナー由来白血病	トリソミー21を認め、FAB M7と診断。その後、HLA半一致PBSCT施行。
2	ドナー由来白血病	トリソミー21を認めたが、その後自然消失。
3	ドナー由来白血病	B-ALL。その後t(4;11)(q22;q23)、MLL-AF4陽性。
4	食物アレルギー	食物性のアナフィラキシーショックが出現。
5	染色体異常	染色体inv(9)(正常変異)とトリソミー8の細胞を認めた。骨髄、末梢血に血液学的異常所見なし。
6	染色体異常	XXYの細胞を認めた。 症状や処置が必要な合併症は認められない。
7	無γグロブリン血症	血液検査にてγグロブリンが検査感度未満、蛋白分画のγグロブリン分画がほぼ消失。

V 外観異常(平成26~28年度)

(移植数 : 3,823例)

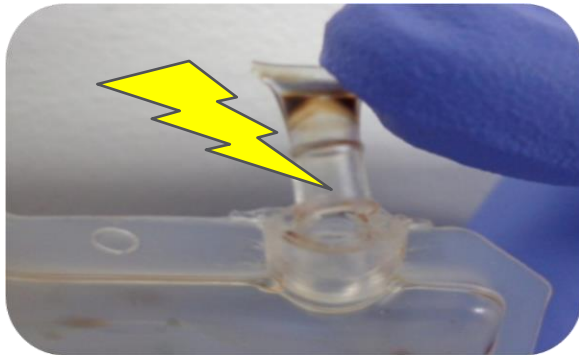
≪報告数≫

異常態様	報告件数	頻度(%)	詳細
凍結バッグ破損	17	0.44	セグメント破損:13例 (根元部分7例、先端部分6例) バッグ破損 :4例
凝集塊	6	0.16	
その他	2	0.05	インジェクションプラグ挿入時に漏れ

セグメント根元部分の破損

【破損例】

凍結バックのセグメント、チューブの根元はもろいので注意。



インジェクションプラグ挿入時の注意点

チューブの根元を持つ バッグ中央部分を持つ

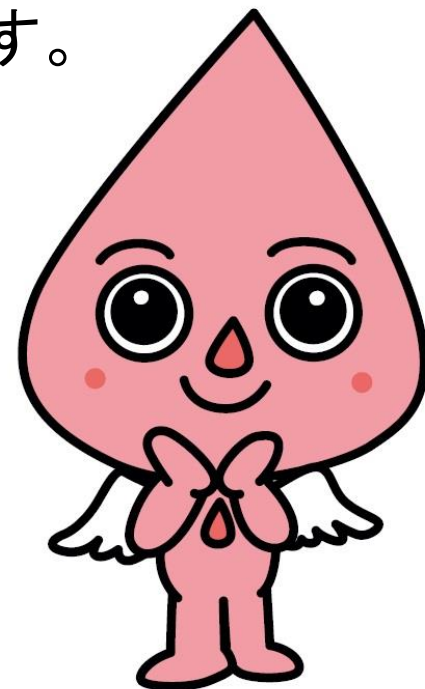


VI お問い合わせ

臍帯血バンクでは、提供した臍帯血移植に関する有害事象・外観異常を把握し、得られた情報を移植医療機関が有効に活用できるよう、ポータルサイト「造血幹細胞移植情報サービス」等でお知らせしています。（毎年6月末に情報更新）

ご使用になる移植用臍帯血の有害事象・外観異常の情報は、移植医療機関から連絡をいただくことで蓄積されていきます。

有害事象・外観異常等の**情報提供を**
お願いいたします。



©やなせたかし / やなせスタジオ